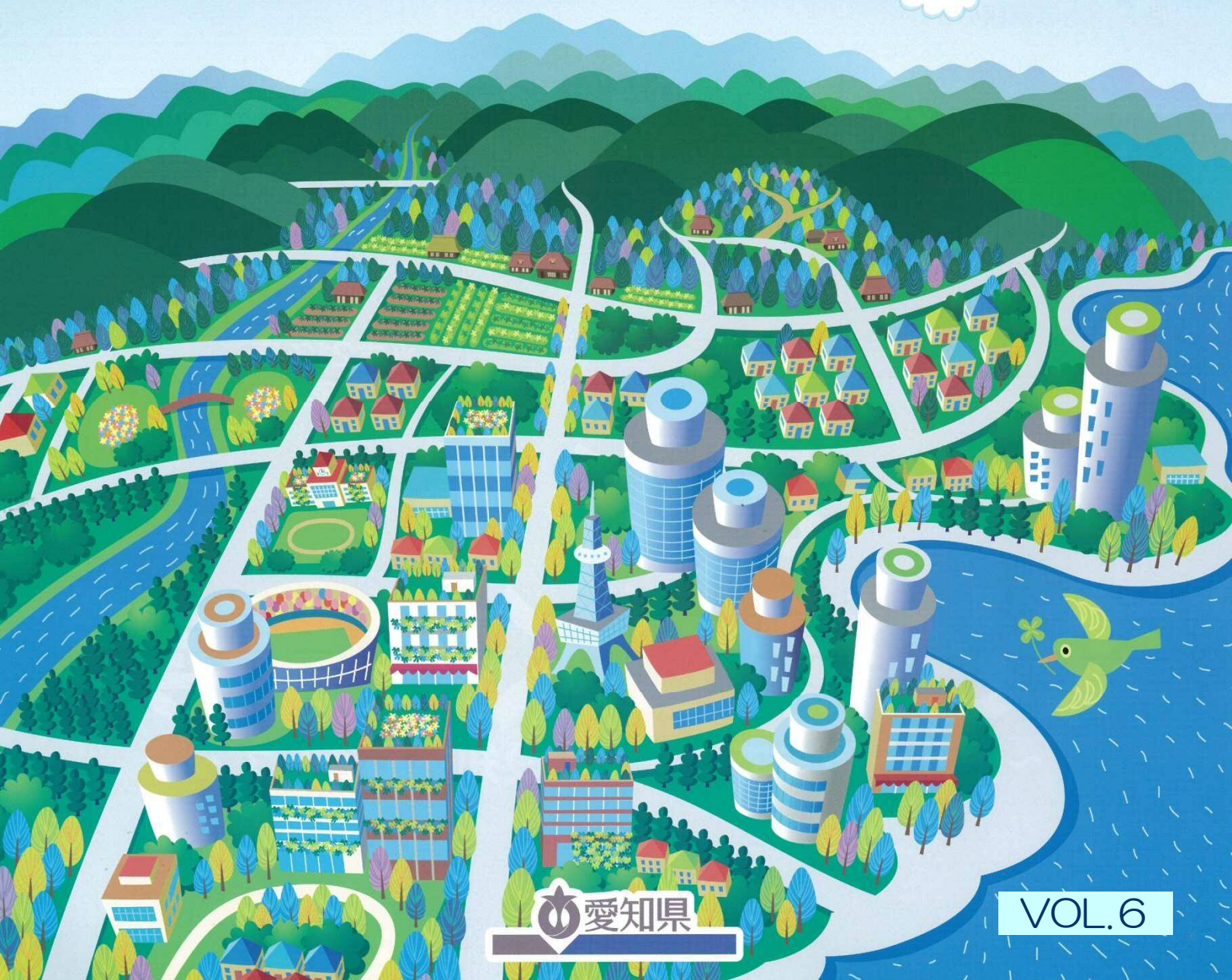


平成 26 年度 あいち森と緑づくり事例報告 (案)

2014.4~2015.3 の取組をまとめました

あいち 森と緑づくり事業

~山から街まで緑豊かな愛知をめざして~



未来の森と緑に「あいち森と緑づくり税」

森や緑には、たくさんの働き（公益的機能）があり、私たちはその恩恵を受けて生活しています。そうした自然をもっと豊かにして、次の世代に残していくために、森林の荒廃を防ぎ、緑の喪失を止め、守っていきたくて考えています。

県民の皆さまにご負担いただきました「あいち森と緑づくり税」により、県内各地で人工林や里山林の整備、都市の緑化、環境活動・学習の支援、木の香る学校づくり、県産木材利活用推進、森林整備技術者の養成、森と緑づくり体感ツアーを実施しました。

森や緑の働き

水源かん養

土壌が雨水を蓄え、洪水や濁水を緩和し、土を通り抜けた水を浄化します。



災害防止

下草や低木、落ち葉などが雨水による地表の浸食を防ぎ、木の根が土砂の崩壊を防ぎます。都市においては火災による延焼を防止します。



森林整備技術者の養成



30日間の講義を14名が受講

愛知県産木材利活用推進

間伐材の搬出促進の取組を支援し、県産木材（あいち認証材）を知っていただく機会となるよう、公共施設へのベンチの導入を支援しました。



4市町村で6件の間伐材搬出促進を支援、6市町で8施設へのあいち認証材を使ったベンチの導入を支援

人工林の整備

森林所有者だけでは実施が困難な公道・河川沿い、道路から遠い奥地林の間伐を実施しました。



9市町村43か所で1,248ヘクタールを実施

里山林の整備

里山林の整備を行い、地域の皆さんが管理をしたり自然を楽しむために必要な施設を設置しました。



13市町で39か所(約134ha)の里山林整備を実施

環境保全

二酸化炭素の吸収による地球温暖化の防止や蒸発散作用による温度調節など、地球の環境を整えます。



都市の緑化

民有地の緑化など県民の皆さんとともに緑をつくりあげていくために様々な取組を行いました。



40市町で239件の事業を実施

環境活動・学習の支援

市町村やNPO等が行う企画提案型の環境保全活動や環境学習事業を公募により選定し、支援しました。



37市町村で102件の活動を支援

レクリエーション

人々に安らぎや豊かさを与えたり、健康の増進や行楽、スポーツの場を提供します。

生物多様性保全

様々な野生動物や植物が互いにつながり、ともに生きる場を提供します。

木の香る学校づくり

木材の良さを考える機会となるよう、小中学校が あいち認証材を使った机・椅子などを導入する際に支援しました。



19市町村で木製の机・椅子を11,855セットと机352台、下駄箱、ロッカー等124台を導入

森と緑づくり体感ツアー



2コースで69名が参加

快適環境形成

ヒートアイランド現象を緩和したり、防風や防音のほか、空気中の汚れを吸着したりします。

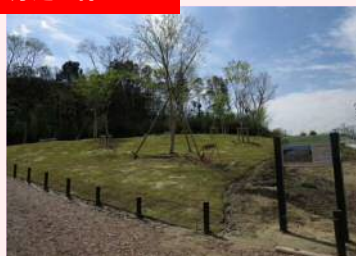
文化・景観

森や緑の美しさが、行楽や芸術の対象となり、人々に感動を与えます。また、都市の景観に潤いをもたらします。



都市の緑化

身近な緑づくり



公共施設の緑化や、新たな公園緑地の創出、整備に対して支援しました。

場所 東海市加木屋町
名称 加木屋緑地整備

緑の街並み推進



企業の屋上や駐車場、個人宅地内など、民有地における緑化活動に対して支援しました。

場所 豊田市水源町
名称 企業敷地緑化

美しい並木道再生



道路を美しい並木道に再生するための事業に対して支援しました。

場所 西尾市志籠谷町
名称 市道戸ヶ崎線

県民参加緑づくり



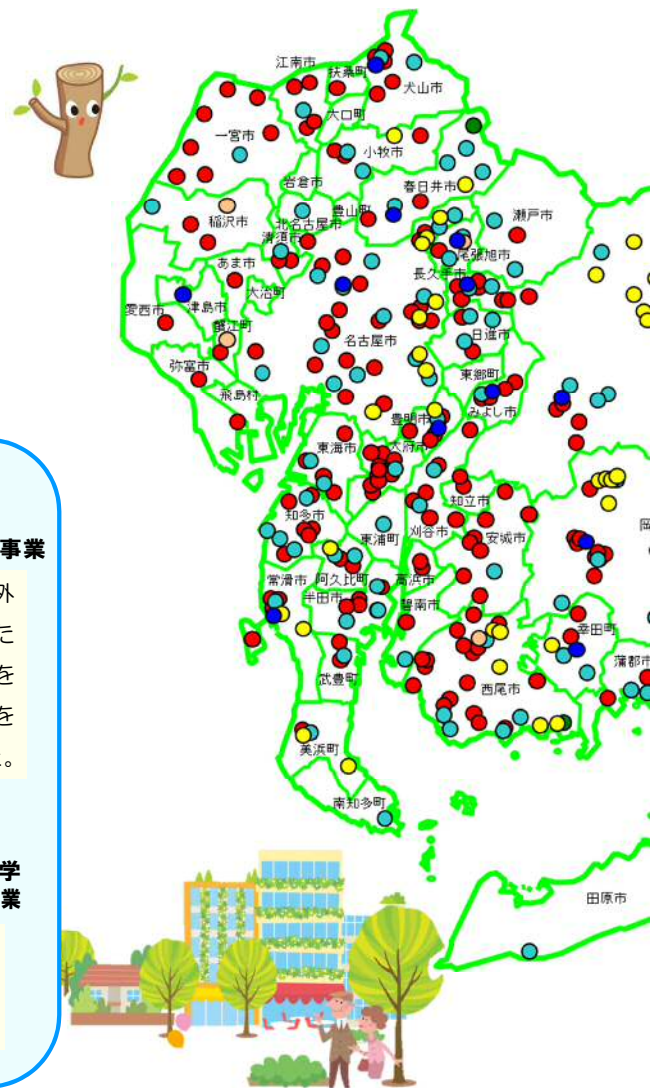
植栽体験や樹木講座など、県民参加の緑づくりに対して支援しました。

場所 小牧市大字大草
名称 市民四季の森植樹祭

※名古屋市内の都市緑化推進事業については、件数が多いため代表的な位置を示しています。なお、名古屋市内の実施件数は下記のとおりです。
千種区7、東区2、西区4、中村区5、中区4、昭和区7、瑞穂区10、北区2、中川区4、港区9、守山区4、緑区14、名東区4、天白区6、合計83件（市外1件を含む）



平成26年度の主な事業実施箇所



環境活動・学習の支援

森・緑の育成活動



場所 春日井市西尾町
名称 シデコブシの保全
絶滅危惧種である自生シデコブシの保全のため、入山道の整備、下草刈り、除伐等及び個体数調査を実施しました。

水と緑の恵み体感



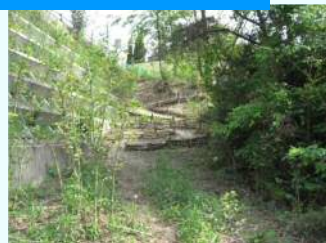
場所 庄内川水系
名称 庄内川環境調査と生物多様性保全を担う人材の育成
水質調査や生物調査、ゴミ調査を行い、自然の恵みと都市部の川が抱える問題を学びました。

太陽・自然の恵み学習



場所 豊田市立若林西小学校
名称 緑のカーテン設置モデル事業
緑のカーテンを設置し、室内外の温度変化の計測や、収穫したゴーヤを使った調理実習などを通じて太陽や自然の恵みを学び、環境教育を実施しました。

生態系ネットワーク形成



場所 豊田市八草町 等
名称 東部丘陵地域における大学キャンパスビオトープ整備事業
大学キャンパス内の池とその周辺を整備し、ビオトープの維持・向上を図りました。



- 人工林の整備（間伐）
- 里山林の整備
- 都市の緑化
- 環境活動・学習の支援
- 木の香る学校づくり(実施市町村)
- 愛知県産木材利活用推進(実施市町村)



人工林の整備（間伐）

公道沿いの間伐



道路や電線、ガードレール沿いなど、作業がしにくく経費がかかる人工林を間伐しました。



場所 新城市四谷
面積 約 16 ヘクタール



場所 北設楽郡設楽町津具
面積 約 35 ヘクタール

奥地林の間伐



林道等から遠いなど採算性が悪く整備が進まない人工林を間伐しました。



場所 豊田市万町町他
面積 約 73 ヘクタール

里山林の整備

里山林再生整備

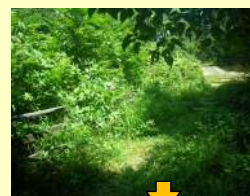
場所 豊川市長沢町
面積 10.91 ヘクタール



放置されて樹木が繁茂し、竹が進入した里山林を整備し、林地の保全のため筋工を設置しました。

身近な里山林整備

場所 豊明市沓掛町
面積 2.90 ヘクタール



階段や木橋、柵工を設置し、森林整備に必要な資機材の購入を支援しました。



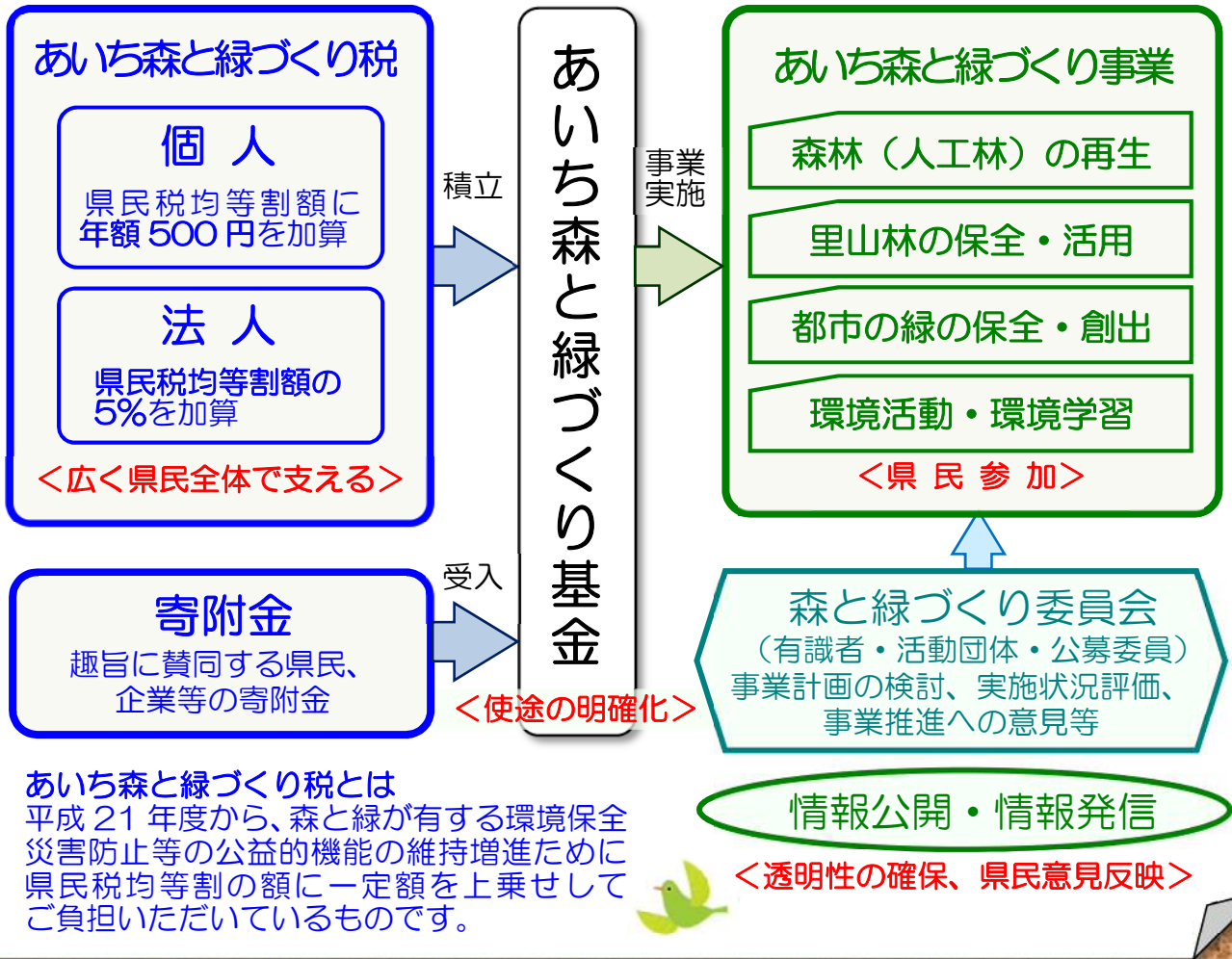
場所 名古屋市守山区大森八龍
面積 2.00 ヘクタール



放置された里山林における枯損木などの伐採を支援しました。



あいち森と緑づくり税による事業の仕組み



ご寄附のご紹介

(平成 26 年度受付分、敬称略、順不同)

マックスバリュ東海株式会社
 ダイードリンク株式会社
 愛知トヨタ自動車株式会社
 株式会社中京銀行
 吉田工機株式会社
 鵜飼史郎
 株式会社伊藤園
 JAバンクあいち
 アサヒビール株式会社中部統括本部



ありがとうございました

お問い合わせ先

人工林と里山林の整備、愛知県産木材利活用推進、
木の香る学校づくり及び森と緑づくり体感ツアーに
関すること

農林水産部森と緑づくり推進室

電話 052-954-6455

<http://www.pref.aichi.jp/shinrin/mori-midori>

都市の緑化に関すること

建設部公園緑地課

電話 052-954-6526

<http://www.pref.aichi.jp/koen>

環境活動・学習の支援に関すること

環境部環境政策課

電話 052-954-6210

<http://www.pref.aichi.jp/kankyo>

